

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成22年2月4日(2010.2.4)

【公開番号】特開2005-198257(P2005-198257A)

【公開日】平成17年7月21日(2005.7.21)

【年通号数】公開・登録公報2005-028

【出願番号】特願2004-322376(P2004-322376)

【国際特許分類】

H 04 N 5/44 (2006.01)

H 04 B 1/06 (2006.01)

H 04 N 5/00 (2006.01)

H 04 N 7/14 (2006.01)

【F I】

H 04 N 5/44 H

H 04 N 5/44 A

H 04 B 1/06 Z

H 04 N 5/00 A

H 04 N 7/14

【手続補正書】

【提出日】平成21年12月11日(2009.12.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

他のテレビジョン放送受信装置と通信可能に接続されたテレビジョン放送受信装置であつて、

前記テレビジョン放送受信装置が受信できるチャンネルで放送される放送番組に関する第1の番組情報を記憶する第1の記憶手段と、

前記他のテレビジョン放送受信装置が受信できるチャンネルで放送される放送番組に関する第2の番組情報を、前記他のテレビジョン放送受信装置から取得する取得手段と、

取得した前記第2の番組情報を記憶する第2の記憶手段と、

前記第1の番組情報と前記第2の番組情報に基づいて、前記テレビジョン放送受信装置のチャンネル選局と、前記他のテレビジョン放送受信装置のチャンネル選局とを制御するため用いる第3の番組情報を生成する生成手段と、

前記第3の番組情報を前記他のテレビジョン放送受信装置に送出する送出手段と、

ユーザが前記第3の番組情報を用いて、前記テレビジョン放送受信装置で受信するチャンネルの選局処理を指示した場合、このチャンネルの選局を前記他のテレビジョン放送受信装置に指示するための選局通知情報を前記他のテレビジョン放送受信装置に送信する通知手段と、

を有し、

前記第3の番組情報は、前記第1の番組情報と前記第2の番組情報の中から、前記テレビジョン放送受信装置が受信できるチャンネル及び前記他のテレビジョン放送受信装置が受信できるチャンネルにおいて同一時間帯に放送され、かつ、少なくとも番組名が同じ番組と当該番組を放送するチャンネルを抽出して生成されることを特徴とするテレビジョン放送受信装置。

【請求項 2】

他のテレビジョン放送受信装置と通信可能に接続されたテレビジョン放送受信装置の制御方法であって、

前記テレビジョン放送受信装置が受信できるチャンネルで放送される放送番組に関する第1の番組情報を所定の記憶部に記憶する第1の記憶ステップと、

前記他のテレビジョン放送受信装置が受信できるチャンネルで放送される放送番組に関する第2の番組情報を、前記他のテレビジョン放送受信装置から取得する取得ステップと、

、
取得した前記第2の番組情報を所定の記憶部に記憶する第2の記憶ステップと、

前記第1の番組情報と前記第2の番組情報とに基づいて、前記テレビジョン放送受信装置のチャンネル選局と、前記他のテレビジョン放送受信装置のチャンネル選局を制御するために用いる第3の番組情報を生成する生成ステップと、

前記第3の番組情報を前記他のテレビジョン放送受信装置に送出する送出ステップと、

ユーザが前記第3の番組情報を用いて、前記テレビジョン放送受信装置で受信するチャンネルの選局処理を指示した場合、このチャンネルの選局を前記他のテレビジョン放送受信装置に指示するための選局通知情報を前記他のテレビジョン放送受信装置に送信する通知ステップと、

を有し、

前記第3の番組情報は、前記第1の番組情報と前記第2の番組情報の中から、前記テレビジョン放送受信装置が受信できるチャンネル及び前記他のテレビジョン放送受信装置が受信できるチャンネルにおいて同一時間帯に放送され、かつ、少なくとも番組名が同じ番組と当該番組を放送するチャンネルを抽出して生成されることを特徴とするテレビジョン放送受信装置の制御方法。

【請求項 3】

他のテレビジョン放送受信装置と通信可能に接続されたテレビジョン放送受信装置であって、

ユーザにより前記テレビジョン放送受信装置の選局操作が行われた場合、前記他のテレビジョン放送受信装置でも前記テレビジョン放送受信装置で選局されたチャンネルで放送されている番組が放送されているチャンネルを自動的に選局するように、前記他のテレビジョン放送受信装置を制御可能な第1の視聴モードと、

前記テレビジョン放送受信装置の選局操作が行われても、前記他のテレビジョン放送受信装置の選局動作を制御しない第2の視聴モードと、

を有し、

前記少なくとも2つのモードのうち、いずれか一方のモードを選択するためのユーザ操作を受け付ける手段と、

ユーザにより選択されたモードが前記第1の視聴モードである場合、前記テレビジョン放送受信装置でユーザがチャンネルを選局した場合、前記他のテレビジョン放送受信装置に対して、前記テレビジョン放送受信装置で選局されたチャンネルで放送されている番組が放送されているチャンネルを選局するための制御情報を通知する通知手段と、

を備えることを特徴とするテレビジョン放送受信装置。

【請求項 4】

前記他のテレビジョン放送受信装置で受信可能な番組の番組情報を取得し、この番組情報に基づいて前記制御情報を生成する制御手段を備えることを特徴とする請求項3に記載のテレビジョン放送受信装置。

【請求項 5】

他のテレビジョン放送受信装置と通信可能に接続されたテレビジョン放送受信装置の制御方法であって、

ユーザにより前記テレビジョン放送受信装置の選局操作が行われた場合、前記他のテレビジョン放送受信装置でも前記テレビジョン放送受信装置で選局されたチャンネルで放送されている番組が放送されているチャンネルを自動的に選局するように、前記他のテレビ

ジョン放送受信装置を制御可能な第1の視聴モードと、

前記テレビジョン放送受信装置の選局操作が行われても、前記他のテレビジョン放送受信装置の選局動作を制御しない第2の視聴モードと、
を有し、

前記少なくとも2つのモードのうち、いずれか一方のモードを選択するためのユーザ操作を受け付けるステップと、

ユーザにより選択されたモードが前記第1の視聴モードである場合、前記テレビジョン放送受信装置でユーザがチャンネルを選局した場合、前記他のテレビジョン放送受信装置に対して、前記テレビジョン放送受信装置で選局されたチャンネルで放送されている番組が放送されているチャンネルを選局するための制御情報を通知する通知ステップと、
を備えることを特徴とするテレビジョン放送受信装置の制御方法。

【請求項6】

前記他のテレビジョン放送受信装置で受信可能な番組情報を取得し、この番組情報に基づいて前記制御情報を生成する制御ステップを備えることを特徴とする請求項5に記載のテレビジョン放送受信装置の制御方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

本発明に係るテレビジョン放送受信装置は、他のテレビジョン放送受信装置と通信可能に接続されたテレビジョン放送受信装置であって、前記テレビジョン放送受信装置が受信できるチャンネルで放送される放送番組に関する第1の番組情報を記憶する第1の記憶手段と、前記他のテレビジョン放送受信装置が受信できるチャンネルで放送される放送番組に関する第2の番組情報を、前記他のテレビジョン放送受信装置から取得する取得手段と、取得した前記第2の番組情報を記憶する第2の記憶手段と、前記第1の番組情報と前記第2の番組情報とに基づいて、前記テレビジョン放送受信装置のチャンネル選局と、前記他のテレビジョン放送受信装置のチャンネル選局とを制御するために用いる第3の番組情報を生成する生成手段と、前記第3の番組情報を前記他のテレビジョン放送受信装置に送出する送出手段と、ユーザが前記第3の番組情報を用いて、前記テレビジョン放送受信装置で受信するチャンネルの選局処理を指示した場合、このチャンネルの選局を前記他のテレビジョン放送受信装置に指示するための選局通知情報を前記他のテレビジョン放送受信装置に送信する通知手段と、を有し、前記第3の番組情報は、前記第1の番組情報と前記第2の番組情報の中から、前記テレビジョン放送受信装置が受信できるチャンネル及び前記他のテレビジョン放送受信装置が受信できるチャンネルにおいて同一時間帯に放送され、かつ、少なくとも番組名が同じ番組と当該番組を放送するチャンネルを抽出して生成されることを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明に係るテレビジョン放送受信装置の制御方法は、他のテレビジョン放送受信装置と通信可能に接続されたテレビジョン放送受信装置の制御方法であって、前記テレビジョン放送受信装置が受信できるチャンネルで放送される放送番組に関する第1の番組情報を所定の記憶部に記憶する第1の記憶ステップと、前記他のテレビジョン放送受信装置が受信できるチャンネルで放送される放送番組に関する第2の番組情報を、前記他のテレビジョン放送受信装置から取得する取得ステップと、取得した前記第2の番組情報を所定の記

憶部に記憶する第2の記憶ステップと、前記第1の番組情報と前記第2の番組情報に基づいて、前記テレビジョン放送受信装置のチャンネル選局と、前記他のテレビジョン放送受信装置のチャンネル選局を制御するために用いる第3の番組情報を生成する生成ステップと、前記第3の番組情報を前記他のテレビジョン放送受信装置に送出する送出ステップと、ユーザが前記第3の番組情報を用いて、前記テレビジョン放送受信装置で受信するチャンネルの選局処理を指示した場合、このチャンネルの選局を前記他のテレビジョン放送受信装置に指示するための選局通知情報を前記他のテレビジョン放送受信装置に送信する通知ステップと、を有し、前記第3の番組情報は、前記第1の番組情報と前記第2の番組情報の中から、前記テレビジョン放送受信装置が受信できるチャンネル及び前記他のテレビジョン放送受信装置が受信できるチャンネルにおいて同一時間帯に放送され、かつ、少なくとも番組名が同じ番組と当該番組を放送するチャンネルを抽出して生成されることを特徴とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明に係るテレビジョン放送受信装置は、他のテレビジョン放送受信装置と通信可能に接続されたテレビジョン放送受信装置であって、ユーザにより前記テレビジョン放送受信装置の選局操作が行われた場合、前記他のテレビジョン放送受信装置でも前記テレビジョン放送受信装置で選局されたチャンネルで放送されている番組が放送されているチャンネルを自動的に選局するように、前記他のテレビジョン放送受信装置を制御可能な第1の視聴モードと、前記テレビジョン放送受信装置の選局操作が行われても、前記他のテレビジョン放送受信装置の選局動作を制御しない第2の視聴モードと、を有し、前記少なくとも2つのモードのうち、いずれか一方のモードを選択するためのユーザ操作を受け付ける手段と、ユーザにより選択されたモードが前記第1の視聴モードである場合、前記テレビジョン放送受信装置でユーザがチャンネルを選局した場合、前記他のテレビジョン放送受信装置に対して、前記テレビジョン放送受信装置で選局されたチャンネルで放送されている番組が放送されているチャンネルを選局するための制御情報を通知する通知手段と、を備えることを特徴とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明に係るテレビジョン放送受信装置の制御方法は、他のテレビジョン放送受信装置と通信可能に接続されたテレビジョン放送受信装置の制御方法であって、ユーザにより前記テレビジョン放送受信装置の選局操作が行われた場合、前記他のテレビジョン放送受信装置でも前記テレビジョン放送受信装置で選局されたチャンネルで放送されている番組が放送されているチャンネルを自動的に選局するように、前記他のテレビジョン放送受信装置を制御可能な第1の視聴モードと、前記テレビジョン放送受信装置の選局操作が行われても、前記他のテレビジョン放送受信装置の選局動作を制御しない第2の視聴モードと、を有し、前記少なくとも2つのモードのうち、いずれか一方のモードを選択するためのユーザ操作を受け付けるステップと、ユーザにより選択されたモードが前記第1の視聴モードである場合、前記テレビジョン放送受信装置でユーザがチャンネルを選局した場合、前記他のテレビジョン放送受信装置に対して、前記テレビジョン放送受信装置で選局されたチャンネルで放送されている番組が放送されているチャンネルを選局するための制御情報を通知する通知ステップと、を備えることを特徴とする。